

# 待機児童数 ゼロ 達成！！

## ポイント

平成30年4月1日の保育所等待機児童数は0人です。

田辺市長が就任した平成23年以降、これまで、平成25年9月に策定した「静岡市待機児童解消加速化計画」及び平成27年3月に策定した「静岡市子ども・子育て支援プラン」に基づき、幼稚園の認定こども園への移行や保育所等の新設により保育の量の拡大を進め、平成23年4月（11,365人）から本年4月（15,158人）まで約3,800人分（平成23年比33%増）の定員を確保しました。

その結果、申込児童数が増加しているにもかかわらず、本年4月1日に「待機児童ゼロ」を達成しました。

### ●平成29年度の施設整備の実績

平成29年度は、「静岡市子ども・子育て支援プラン」に基づく集中整備（平成27～29年度）の最終年度と位置づけ、平成30年4月1日の待機児童解消に向け、幼稚園の認定こども園への移行や保育所等の新設により1,512人分の保育定員を新たに確保しました。

保育定員の拡大 1,512人増

【内訳】	既存保育施設の定員増	11園135人
	私立幼稚園の認定こども園移行	9園501人
	認定こども園・保育所の新設	9園750人
	小規模保育事業等の新設	7園126人

### ●平成30年4月の利用申込等の状況

#### ➢申込児童数と利用児童数

平成30年4月の申込児童数及び利用児童数は、少子化が進行し就学前児童数が前年度より減少（▲743人）したにもかかわらず、いずれも大幅に増加しました（申込児童数+552人、利用児童数+697人）。これは、施設整備による保育定員の拡大への期待等を背景に、女性の就労が促進され、潜在的な保育需要が更に掘り起こされたことが主な要因と考えられます。

#### ➢保育所等の利用ができなかった児童数

厚生労働省が定める待機児童の定義には該当しないものの、保育所等の申込みを行ったにもかかわらず、利用ができなかった児童がいます。利用ができなかった児童数は、前年度比で145人減の98人でした。申込児童数が増加する中での減少は、これまでの施設整備による定員増や保護者に寄り添った丁寧な支援の成果といえます。

### ●今後の取組

4月1日の待機児童は解消しましたが、依然として待機児童には含まれないものの保育所等の利用ができなかった児童がおり、年度の後半にかけて申込児童数も増加することから、引き続き施設整備を進め、年間を通じた待機児童の解消を目指します。

#### ➢平成30年度の施設整備計画（当初予算計上分）

保育定員の拡大 301人増

【内訳】	既存保育施設の定員増	1園 40人
	私立幼稚園の認定こども園移行	1園 9人
	認定こども園・保育所の新設	1園 90人
	小規模保育事業等の新設	9園162人

【問合せ】 子ども未来課 企画係

電話（4/9限り） 054-221-1314（青少年育成課取次）、（内）81-4100  
（4/10～） 054-354-2609（子ども未来課）

別紙資料 有